



広報

よいた

1月 No. 271

〔平成元年1月10日〕

〈今月のページ〉

新年のごあいさつ	2~3
12月定例議会	4~7
フォトニュース	8~9
ほのほの家族	12
各種お知らせ	14~15
わが家のアイドル	16

■発行/与板町(代表者 与板町長 平澤基九郎)
 ■電話 (0258) (代)72-3100
 ■編集/与板町広報編集委員会

わたしたちの 版 画



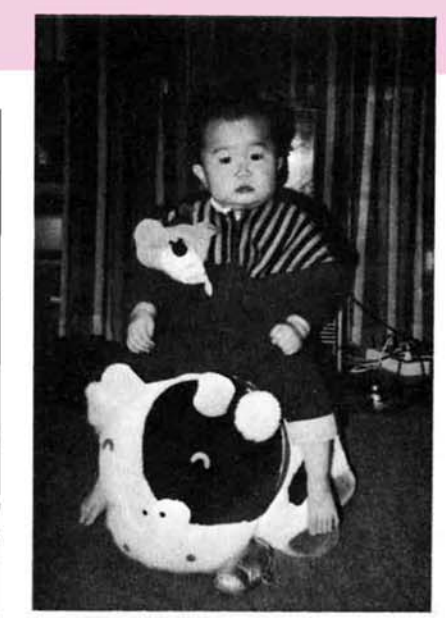
冬の雁木通り

〈与板町版画クラブ〉

本 田 純 治 郎

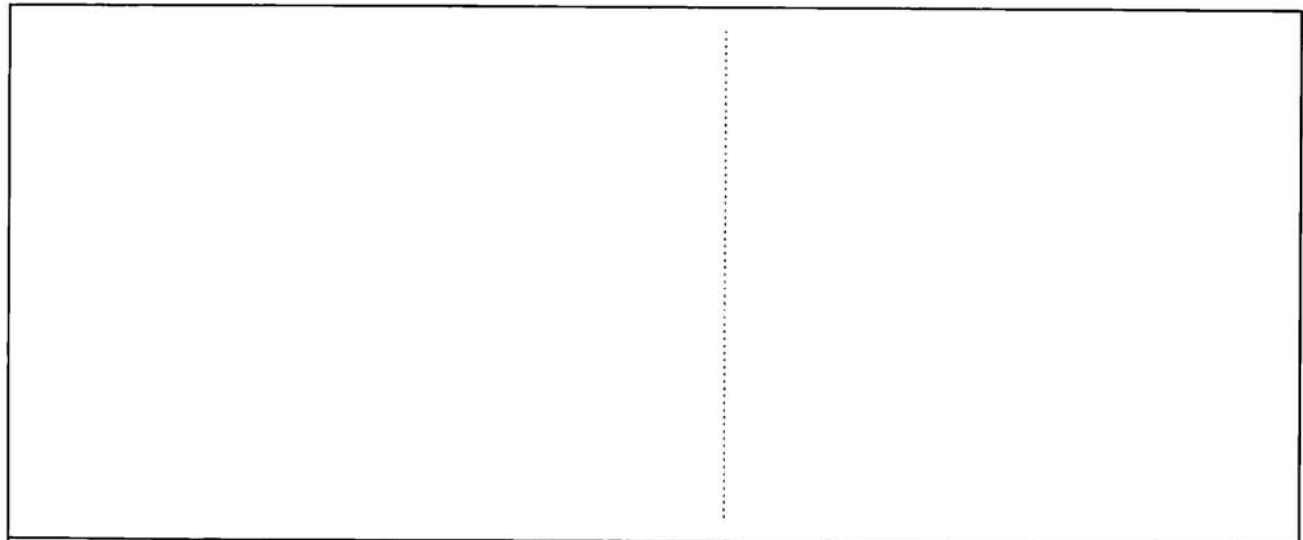
お詫び

先月号の「わたしたちの版画」の欄で佐藤紀子さんは近藤紀子さんの誤りでした。訂正してお詫び致します。



わが家の
アイドル
山崎浩文くん
〔横町〕 山崎英男さんの長男

皆さん新年明けましておめでとうございませう。僕は一月十日の、一一〇番の日、に生まれました。ひろふみといひます。
 お父さんそっくりのタレ目で、ポツチャリしているのが「可愛いね」とおだててくれるので僕も「あー」と言ったり、拍手をしたりして一生懸命に愛敬をふりまいて近所の人を笑わせています。
 僕が一番好きなのは、お風呂に入って遊ぶことです。おかしいよね水って。僕が一生懸命つかまえようとしているのにつかめないし、余り騒ぎすぎて時々目のなかに入ってきて僕をいじめるんだよ。不思議だなあ？
 そんな僕も、もうすぐお兄さんになります。先輩としていろいろと面倒を見なくては。だから、早く一人歩きして親に迷惑をかけるないように歩く練習の真っ最中なんだ。(親孝行だね。)



編集室



— 人 口 —
 (12月31日現在)

男	3,689人(+1人)
女	3,873人(-1人)
計	7,562人(±0人)
世帯数	1,810戸(±0戸)
転入	4人
転出	6人
出生	10人
死亡	8人

▼十二月定例議会・一般質問の内容をお知らせします。
 ▼昨年同様雪の無い穏やかなお正月をお迎えの事と存じます。本年も昨年以上に良い年でありたいものです。
 ▼新しい年を迎え、本年も「広報よいた」をよろしくお願い致します。
 今月号も表紙をカラーで飾ってみました。いかがでしょうか。本年も皆さんから寄稿をおまちしています。

御挨拶を申し上げます



与板町長 平澤 甚九郎

謹んで初春の御挨拶を申し上げます。町政につきましては、平素から温かいご理解とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

雪のない元旦を喜んで迎えた昨年は、一年を通して天候に恵まれ、災害の無い年でありました。お陰様で生活の基礎となる環境整備をはじめ予定した事業は、ほとんど順調に進みましたが、国・県をはじめ、国・県議会議員の先生方のご厚配と町議会のご指導、そして町民の皆様への協力の賜と衷心感謝申し上げます。

昨年は、三月に中学校体育館とプールが完成し、校舎棟と給食センターも今年度中には完成の予定となっております。

又、荻岩井地区の北越ヒューム管株式会社業務拡張に伴う新工場の建設をはじめとする江東地区への企業誘致も、お陰様で町民待望の中に五社の進出が決定し、既に操業開始の企業もあり、建設中の企業も本年三月に完成が予定され、更に、本年度中に進出する企業と共に、町の産業に新しい息吹を注入する原動力となることを期待し、感謝致しております。

下水道事業も国の重要施策の中で順調なペースで進んでおり、更には、横原地域に建設中の老人保健施設も今年度四月に開所を目指しております。

さて、迎える新しい年も希望を抱きながら、町民の健康と安全の確保を最優先として、町政の刷新を図ります。計画した事業についても、予算の配分獲得は難しく、国庫補助負担率の復元問題は断念を許されない状況であります。税制改革の

行方についても不透明な要素があり、景気も堅調に推移しつつあるものの、厳しい現況の中、町民の皆様への負担を軽減し、健全財政を堅持し、希望を抱く明日に向けての町づくりを進めて参る決意でございます。

下水道工事でも工事上の問題を教訓としながら、更に引き続き仕事を進め、御要望の高い消費パイプも地域の公平性をも考慮しながら、国・県事業との協調の中で延長を計って参ります。

更には、輸出抑制と円高の進む混迷する経済界、転作強化や自由化問題に苦しむ農業等不安材料の多い産業構造の中にあって、町の活性化を求める努力を怠ることなく、更に引き続き企業誘致に積極的に取り組んで参ります。

国も四全総に基づき、本格的な国際化・情報化の進展、産業構造の転換等に伴い、多極分散型国土形成の必要性の高まりの中から、地方公共団体が自らの企画により、単独で行なう事業として「ふるさと創生」いわゆる「ふるさとづくり特別対策事業」を創設し、地域づくりの推進を打ち出しております。

これをうけて町も、地域の活性化のために地域に住む住民が自らが知恵と情報を結集し、力を合わせて対応して、喜んで住む郷土づくりに取り組んで参らなければならぬ重要な年であります。

新しく迎えた今年「己巳」であります。「巳」はお金に深い縁があると言われております。新年を迎え、今年こそはそれぞれの商売が繁昌する事を念じながら新年のご挨拶と致します。

迎春

'89謹んで新年の



議会議長 藤山 重雄

町民の皆様にはご家族お揃いで新しい年を迎えられたこと、拝察いたし、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

新しい年は「巳年」であります。「巳」は、起こる・自分自身で奮起するとの意味があるようですが、今年の「二年の計」は、どんな希望を盛り込んで樹てられたでしょうか。私達議会人としていたしましては、町民の皆様が健康で・豊かな・明るい生活を送られることを願いながら、町勢進展のため一層の努力をいたす所存であります。

二年統きの少雪で明けた昨年は、幸いにいたしました大きな災害もなく、平穏な一年でした。町の活性化に大きく貢献するであろう企業の誘致も順調に進び、江東工業団地には五社の進出が決定し、既に一社は操業を開始されました。残る各社も、春から順次操業が始まることとなっております。一方荻岩井にも、業務拡張による工場進出が、新しい就労の場としても大きな期待をいたしておるものであります。

又、継続事業を進めてきた中学校校舎改築工事、校舎棟の完成を待つばかりとなつて（グラウンド整備は新年度となりまふ）、給食センターも完成し、新年度からは、新しい施設から作られる給食が楽しみであります。更に、横原で建築中の老人保健施設「グリーンヒル与板」も、春にはオープンいたします。

公共事業では、長い間の懸案でありました国道長岡一和島線のトンネルを含めた工事が本格的に開始されることになり、道路網の整備が一段と進んで参ります。

国の情勢は、内需拡大の経済政策が浸透し、かなりの方面にその効果が出てきていること、又、均衡のとれた国土発展を目指す多極分散型の施設が序々に具体的になってきており、いまままでに比べて、地方が重視される新しい時代に入ってきている感があります。更に、税制の大巾な改正や、労働時間の縮減に向けた週休二日制の導入等々があり、このことは、大きく云えば変革の時代の入口に立っている時期といえるのではないのでしょうか。

この時にあたり、与板町といたしましても、下水道事業の推進をはじめ、中学校の環境整備・企業誘致の促進にと、引き続き「住みたくなる町づくり」実現のために、生活の基盤の確立に向けた施策を、着実に実行して行かなければならぬものと考えております。

町の財政事情が、大巾に好転するといふような要素も考えられず、消費税の創設による地方税源の減少も予想されるなど、依然として厳しい状況であることに変わりございません。しかし、議会と執行部が共に英知を出し合い、一つ一つ問題を解決しながら、町民の皆様のご期待に添うべく努力をして行かなければならないと考へます。

どうか本年もよろしくご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。同時に、皆様のご健康とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさつといたします。

町議会十二月定例会

第四回町定例会が十二月十九日から二十日までの二日間の会期で開催されました。慎重な審議の結果、いずれも原案どおり議決されました。



提出された議案

- 報告第一号……専決処分報告について
- 下水道工事に伴う契約金額の変更
- 報告第二号……寄付採納について
- 金百万円（社会福祉事業のため）（長岡市）高野 ハナ様
- 議案第一号……長岡地域土地開発公社定款の変更について
- 議案第二号……与板町税条例の一部を改正する条例について
- 議案第三号……与板町職員給与に関する条例の一部を改正する条例について
- 人事院勧告に伴う給与の改定
- 議案第四号……昭和六十三年度一般会計補正予算（第四号）
- 歳入歳出予算の総額にそれぞれ、三八、四二、三、三、六八、五、六、七、四、千円を追加し、歳入歳出それぞれ、二、六八、五、六、七、四、千円とする。
- 議案第五号……昭和六十三年度与板町国民健康保険事業特別会計補正予算（第二号）
- 歳入歳出予算の総額にそれぞれ、三、二、五、四、千円を追加し、歳入歳出それぞれ、四、七、五、〇、二、〇、千円とする。
- 議案第六号……昭和六十三年度与板町下水道事業特別会計補正予算（第二号）
- 歳入歳出予算の総額にそれぞれ、一一、〇〇、千円を追加し、歳入歳出それぞれ、四〇、三、三、四、七、千円とする。



● 上与板地域の開発について

米山議員

主要地方道長岡一和島線の改良も決まり、先般その説明会があった様だが、その内容について伺いたい。家屋の移転については、現地近くに造成を行い幹線の労を取って頂きたい。

又、原信出店等により上与板地域の開発を急がなければならぬのではないかと考えるが、

平澤町長

念願の長岡一和島線の改良、原信出店に關係して上与板地域の開発を急がなければならぬかと考えている。家屋の移転については、個々の事情はあるが、集団化して移転願う方が今後の町づくりの上でも良いのではないかと考えている。将来に向けては、線引きの關係もあるが、国も市町村が計画的に事を進めるならば、その地域の市街化形成を有利に展開できる様に農振法・農地転用・都市計画法のすり合わせを行ないながら検討中であるとの事なので、今後研究しながら町づくりの原点としていと考えている。

● 保健所の跡地利用について

米山議員

保健所跡地利用については拙下げを受け、今、住民の間で一番話題となっている医療機関的

なものに利用できないか。近隣の大きな病院の出張診療による診療的なのが良いと思うが、

平澤町長

先般管内五ヶ町村の協議会で検討をし、跡地については与板にまかせるといふ意見を頂いた。それをうけ、県に拙下げについての陳情を行った。県も厚生省の補助金のからみはあるが前向きに検討したとの回答を頂いている。まず、町財政の中で有利な形で拙下げを受けられるよう努力し、跡地利用については県立病院の派遣医師や町単独では難しいので、ご指摘の様な形が町にとっても良いのではないかとこの県の考え方である。公益的な範囲での利用も合せ、今後研究したいと考えている。

● 塩之入岩方線の道路改良の促進について

米山議員

塩之入岩方線の道路改良については念書をかわして十三年もたっている。早急に実施して頂きたい。

平澤町長

工法上の検討と合せ執行残額等を考慮し、今回はセンターの所まで完了する様近々工事を発注したいと考える。遅れたことは深くお詫びしたい。

* * *

● 六十四年度予算編成の基本姿勢について

小林議員

明年度は現任期による最後の予算編成になるが、再選を目標しての予算編成になるのではないかと伺う前提で、明年度の重点施策として何を取り上げようとお考えか、具体的構想を伺いたい。

平澤町長

明年度の予算編成については、国においては引き続き財政改革を強力に推進し、歳入歳出面において徹底した見直し、合理化に取り組んでいる。当町の財政は公債費比率、経常収支比率とも好転はしているが、中学校改築事業・公共下水道事業と大いに着手している現在、極めて厳しい財政環境に置かれている。昭和六十四年度は、中学校のグランド造成や外構工事、公共下水道事業の推進、警察・保健所跡地利用、企業誘致の推進、国道昇格、大型店舗問題等大きな、急務の仕事をかかえながら、二十一世紀に向けてのふるさと創生を目標とした新しい与板町をつくり上げるために町民の総意を結集し、理解と協力の中で町民各層の幅広い信頼とご支持を頂いて、再び町政を担当させて頂きたいと決意致している。したがって、今申し上げた諸施

策を明年度、又は、それ以降の町政の主要なる柱と考えている。

● 「ふるさと創生」を進める政府の施策について

小林議員

十一月三十日の全国町村長大会での、ほぼ一律一億円配分の「ふるさと創生」に対する当町の対応について伺いたい。

平澤町長

まだ具体化してない段階ではあるが、これからの地域づくりは従来の様に国・県が主導して来た政策を地方に流すのではなく、地域住民と行政が汗を流して、手づくりで真剣にやり組むことによって本当のふるさとづくりがあると思われている。明年度ご理解頂ければ、若い各層の人達の意見を聞く委員会の様なもの組織し、その中からのアイデア・発想を生み出し、事業として対応して参りたいと考えている。

● 警察署及び保健所跡地有効利用について

小林議員

警察跡地については、県から具体的な話があると思うので利用について各課長に検討を指示しているとの答弁であった。その後の県からの内容と部内での検討内容を伺いたい。



平澤町長

警察跡地については、内部で検討したが具体的な結論は見出しは無いが、与板にゆかりのある土地であるので購入したい気持ちは変わらない。県と非公式に行なった話では、目的の無いものについての先行取得は認められず、そうでなければ単年度自己財源で購入すべきとの事であった。利用については今後議会の皆様のお知恵や

ご提言があれば受け賜りたいと考えている。

保健所跡地については、米山議員にお答えした通りである。新聞報道によれば、若手医師は開業医より病院勤務医志向が増え、診療所の新設より廃業が多いため全国で個人医院が減少し、医師の年令も高令化しているという事である。まずあの土地と建物を財政負担のからさない、どの様な形で取得するかを考慮利用についてもそれと平行して考えていくべきだと思う。

● 原信進出について

小林議員

その後の経過と見通しについて伺いたい。

平澤町長

第二種での出店の方向に推移しており、適切な時期をつかんでの商工会長と共に例外意見の提出という形にもっていききたいと努力している。

* * *

● 上与板・星殿から中之島インターを結ぶ新橋建設事業促進について

丸山議員

最近三区選出の国会の諸先生との陳情アドバースによると、今後与板町・和島村・寺泊町地方の産業開発が急速に進むとのこ

とである。この機会に、中之島町長と話し合われ、中之島インターと結ぶ新橋建設のため、促進期成同盟を發足させ、関係町村の同意を得て中央省庁に陳情される様要望するが、町長の考えは。

平澤町長

これは三区の先生方の御話しの中でしばしば打ち出されている構想であり、近年クローズアップして来た問題である。しかし現在は、与板町に国道をとという事で一一七号線の延長期成同盟の運動中であり、国道審議会も六十四一六十五年頃に開催される予定と聞いている。可能性も大であるとの事なのでさらに強い運動を展開し確実なものにしたいと考えている。

そして次なる対応としてご指適の長岡一和島線の橋の問題であるが、昨年より中之島町ととの基盤づくりのため、事務段階で協議している。いずれにせよその成案がまとまった段階で和島村を含め会合を持ち、さらに気運の盛り上がりによって期成同盟会という形で進めていくべきであろうと考える。

● 流末川の古い水門の撤去について

丸山議員

馬越・当之浦地域境土手に係わる一級河川流末川の古水門は

北部用水取り入方法も変更となり、大方の人達が必要がないと考えている。古い水門を撤去し巾の広い橋をかけて頂ける様検討して頂きたい。

平澤町長

● 広域観光の積極的な役割と手法について

丸山議員

上与板江東地区をはじめ、本与板荻岩井地区の開発が急速に推進し、与板町を中心とした広域観光にも大きなはみが見えつつあると思われる。広域観光と結びつけるため、荻岩井の山をぶち破り、富岡と結ぼうとの呼び掛けの話もある。町長の所見を伺いたい。

平澤町長

現在の荻岩井の開発とは意味合いが異なった飛躍したご提言である。幸い北越ヒューム管・嶺工業の進出などで荻岩井地区の形状が一変しつつある事は事実

である。加えて新たに進出を希望されている企業もあり、今後地権者にお願ひしたいと作業を進めている段階である。ご提言の件は、町単独で行なうには莫大な投資となるので今後、国・県の中で道路として活用する制度がないか考えたいと思う。

●住民サービスの役割と新年度予算の大綱について

丸山議員

新年度も予算の大綱を定め、住民福祉と細かい気配りのある予算組みを議会に提出して頂きたいと考えるが。

平澤町長

町の将来にわたる大事業を進めるためには、大きな財政投資を伴うが、その反面、住民の皆様毎日の生活の中で直接利便に共するもの、又、身近な問題で見落しているもの、あるいは不公平感を持っているもの、これらについては充分検討し、予算編成はきめ細かくやるべきだと考えている。

* * *

●観光開発について

高橋議員

歴史的事実に基づく開発が、安定した観光資源であるという考えから、例えば、千体川に



ある千体地蔵を利用して観光開発をしたらどうかと考える。ただ見るだけでなく宗教的なもの精神的なものを加えたなら、安定的・恒久的な観光資源になるのではないかと。具体的には千体地蔵を中心として裏山あたり全山にお地蔵さんを安置する。全国各地からお地蔵さん一つの場所集約し、年何回かの行事を行えば、一つの考え方として町をアピールできるのではないかと考える。

平澤町長

貴重なご提言であると考える。私は、与板町には県内でもめず

らしい河川公園というものがあるので、これらを集中的に管理美化し、資料館・別院とのからみの中で与板町の目玉として位置付けたいものであろうかと考えている。プロジェクトチームの編成については、先程申し上げた通り、住民の発想・参加という事が求められる時期を向えているので、若い世代を網羅した民間の委員会を作って頂き、知恵を出し合い、検討して頂きそこから生まれる発想を我々内部で肉付け、組織付けをして、議会の皆様のお知恵も頂きながら、一つのまとまったものとして育てて参りたいと考えている。

●戦争と天皇の係わりについて

高橋議員

天皇に対して戦争に対する責任がまったくなかったと考えるか、伺いたい。

平澤町長

この種の問題については、その人の持つ思想や信条・知識・立場によって見解の異なる所である。公人としてこの様な場での答弁は差し引かえたいと思う。

●リクルート疑惑と消費税について

高橋議員

国民世論と逆行するこの二つの問題について町長の見解を伺いたい。

平澤町長

リクルート問題については、司直によって現在捜査が進められている段階であり、いずれ真相が判明すると思う。又、消費税についても、我々国民の代表である国会の方々が、国会の場において慎重に論議を戦わしている段階であるので、国会の審議の場にゆだね、得られた結論に従って定められたものは守っていかねければならないと考えている。

* * *

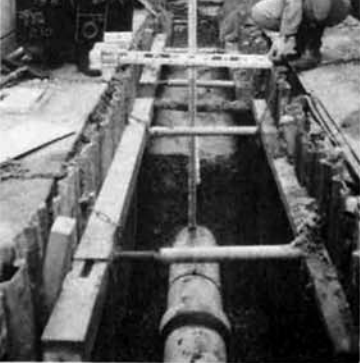
●農村地域での下水道の見通しについて

石塚議員

農村環境整備の一環として農村での下水道事業を積極的に進めて参りたい。特に黒川地域をモデル的に六十四年度計画とお考えを過日議会で説明されたが、具体的にお聞かせ願いたい。

平澤町長

以前の答弁の中で農村地域については、六十四年度の農村総合整備事業の中の農村集落排水事業として取り上げたいと申し上げた。内部



●ふるさと創生への対応について

石塚議員

全国三、二〇〇余市町村に、

一律一億円の地方交付税を配り、地域の独自性を生かし、その使途は自治体に任せる。今年度二〇〇〇万円、六十四年度八、〇〇〇万円を交付するというものであるが、先程の答弁では、これから町民の英知を結集してとの話である。行政がいくつかの案をしめし、その他の発想はどうか、という方法がベターであると思うが、現在この様にしたいという考えの様なものはないのか。

●商店街の活性化について

石塚議員

人口七、五〇〇人の当町で、古い伝統と商人魂で現在の様な商店街を形成している町は、県内はおろか全国でもまれであると考えられる。商業集積地を何所に求め、商店街の活性化をどの様に取り組まれるお考えか。

平澤町長

大型店の進出で町の様相も変わって来ると考える。先日原信が商店街にテナントの募集をしたが、そこに入るテナントが生まれる事によって、共存共栄の地域の産業振興に大きく資するであろうと考え方から、あの地域一帯の地域づくりを今後急いで進めなければならぬと考えている。金融機関の方々と話し合いの中にも、大型店の進出によって町が活性化した。その基本となるものは、それに負けない様に頑張った地域の商店街の底力・努力であるとの事である。今後、商店街が生き残るには、お互いの努力が大きく求められるのではないかと。そして、又、それに対して町も適切な助成・助言を行いたいと考えている。

●与板警察署・与板保健所跡地の有効利用計画について

齊藤議員

警察署・保健所跡地とも取得に関して莫大な費用がかかると思われ、保健所跡地については医療施設という問題が討議されているが、研究施設等の利用も考えてみてはどうか。

次の二点について伺いたい。

①保健所の統廃合によって従来果してきた機能がどの様になるのか。

②今年六月に頭脳立地法が施行になった。テクノポリスの指定の中には、与板町が入っているが、頭脳立地法の指定の中には入っていない。町長が辞退されたという話であるが。

平澤町長

①保健所の持っていた機能をそっくり予算をつけて長岡保健所にお渡しするという事である。外郭団体については、彼らの希望として与板に残りたいとの事で商工会の一部をお借りして事務を執らせて頂く。届出等の許可事務については、提出されたものを機動力を生かして対応したいという事である。

②頭脳立地法に関しては、その当時テクノポリス関係の拠出金を集めるのに苦慮した経過の中で、又、この上頭脳立地法で企業から金を頂かなければならない



という事態のためらいがあった事は事実である。将来的には、テクノポリスに位置しており、金がかかっても加入については考慮したい。

●町史について

齊藤議員

町史について現在までの進捗状況と今後の見通しについて伺いたい。又、関守の印刷については、庶民のかかわりのあるものを記述しているという意味では学問的にも高いものだと考えているので、解説だけしてそのままにしておくのはどうかと考える。期間をかけ、ワープロ等で打ち込めばかなり安価でできると思うので、前向きに検討して頂きたい。

平澤町長

①関守の解説について

七人の先生方に依頼し、年度末一七〇冊解説見込み。

②資料調査について

編集委員六人で、順天堂大学・県史編さん室・明大刑事博物館等に休暇を利用して資料調査を実施している。

③新潟新聞の閲覧・復写について

新大のアルバイトを利用し、大正七年一十三年まで完了。

④資料目録の作成

第一集から第四集まで完了。

第一集 歴史民俗資料館所蔵のもの 一、二八三三

第二集 調査委員提出のもの 三七八七

第三集 下田家文書・両角家所蔵 四一〇点

第四集 榎原佐藤家所蔵 一一〇点

⑤編集委員会・調査委員会の開催状況

・編集委員会 五回

・調査委員会 三回

⑥編集だよりについて

新年一月の広報から、今まで調査を実施した資料をもとに、更に町民の皆さんから、かくれた資料の提供をお願いする願いをこめて「編集だより」を掲載、関守については、町史編さん委員会検討させて頂きたい。

平澤町長



一億円を活用する事業は、地域自ら知恵と情報を結集して行う事が前提であり、人材育成、村おこし、国際交流、地域のイメージづくり、イベントの開催などのソフト事業を想定しているとの事である。したがって先程の答弁の通り、貴重な財源であるので使い道については慎重

— 楽しかった —
クリスマスの集い



12月18日(日)青少年ホームにおいて、子ども会のクリスマスパーティーが行われました。飾りつけをしてムード満点の中で、サンタクロースの入場があったり、ゲームをしたりしました。最後には1人1人がグラスキャンドルをもち一年間の思い出や反省を語り合い、来年への夢と希望をふくらませていました。



ご協力ありがとうございました
《町民体育館・青少年ホーム大清掃》

12月18日(日)町民体育館・青少年ホーム利用者約160名による大清掃が行われました。廊下や階段、すみずみまでピカピカになりました。本年もたくさんの方々のご利用をお待ちしております。寒い中、ご協力ありがとうございました。



みんなで燃やそう
賽の神

一年間の皆様のご健康と豊作の祈願をかねまして、本年も「賽の神」を実施いたします。おさそいあわせの上、たくさんの方のご参加をお願い申し上げます。

*日時 1月14日(土)
午後5時～
*会場 町民体育館脇広場

*もち、するめ、書きぞめ、しめかざり等
をご持参下さい。

よい年を迎えて下さい
～町社協が歳末慰問～



町社会福祉協議会が、去る12月22日から民生委員さんの協力を得て歳末慰問を行いました。

23日には郡内と長岡市の病院や施設を回り、与板から長期入院や入所されておられる方へ歳末見舞金を手渡し、大変喜んで頂きました。



フォト・ニュース



15	14	13	12	11	10	9	8	7	6	5	4	3	2	2/1	31	30	29	28	27	26	25	24	23	22	21	20	19	18	17	1/16						
水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月	日	土	金	木	水	火	月						
	<ul style="list-style-type: none"> 聖バレンタインデー 健康相談 与板保健所/午前10時~12時 	<ul style="list-style-type: none"> 心配ごと相談室 役場男子厚生室/午後1時30分~ 健康相談 与板保健所/午前10時~12時 		<ul style="list-style-type: none"> 建国記念の日 	<ul style="list-style-type: none"> 行政相談 役場男子厚生室/午後1時30分~ 補聴器巡回相談日 役場住民課/午前10時~10時30分 3才児健診 母子センター/午後1時より受付 (S 60・10・11 S 63・12・31迄出生児) 		<ul style="list-style-type: none"> こと始め・針供養 	<ul style="list-style-type: none"> 心配ごと相談室 役場男子厚生室/午後1時30分~ 北方領土の日 			<ul style="list-style-type: none"> 立春 スキー教室 立ヶ入スキー場/午後1時30分~ 	<ul style="list-style-type: none"> 補聴器巡回相談日 役場住民課/午前11時30分~12時 							<ul style="list-style-type: none"> 文化財防災デー 	<ul style="list-style-type: none"> 補聴器巡回相談日 役場住民課/午前11時30分~12時 スキー教室 立ヶ入スキー場/午後1時30分~ 				<ul style="list-style-type: none"> 乳児健診 母子センター/午後1時より受付 (S 63・1・11 S 63・3・31迄出生児) 	<ul style="list-style-type: none"> 健康相談 与板保健所/午前10時~12時 	<ul style="list-style-type: none"> 補聴器巡回相談日 役場住民課/午前10時~10時30分 心配ごと相談室 役場住民課/午後1時30分~ 		<ul style="list-style-type: none"> スキー教室 立ヶ入スキー場/午後1時30分~ 	<ul style="list-style-type: none"> 補聴器巡回相談日 役場住民課/午前11時30分~12時 大寒 					<ul style="list-style-type: none"> 心配ごと相談室 役場男子厚生室/午後1時30分~ 		<ul style="list-style-type: none"> 振替休日・やぶ入り

ワンダーナンバー(1月16日~2月15日)

フレッシュヤング



(山 沢)
山田和明さん

- *おつとめは……
会社員です。
- *何をしている時が一番楽しいですか……
仕事帰りの一服です。
- *今一番したい事は……
ソルマックが飲みたい。
- *趣味は何ですか……
読書です。
- *理想の女性は……
森高千里みたいなタイプの女性。
- *結婚について……
Noコメント!!
- *最後に一言……
今日は二日酔いで頭が痛いです。

与板の地名をたずねて

No.10 槇原・吉津・広野・南中・蔦都

槇原は、中世の頃は、前原と言われ、称念寺の御尊像の裏書には慶長年間に越後国吉川荘前原と書いてあります。正保年間の検地帳控には、槇原となっております。

黒川方面の地名は、信濃川や黒川によって形成された中州の開拓により、地名が名付られた様です。

例えば吉津は、話によれば吉は葦(よし)とも言われ、津とは船付場であったと言われております。川を中心として交通の要所であったので、吉津と言われた様です。

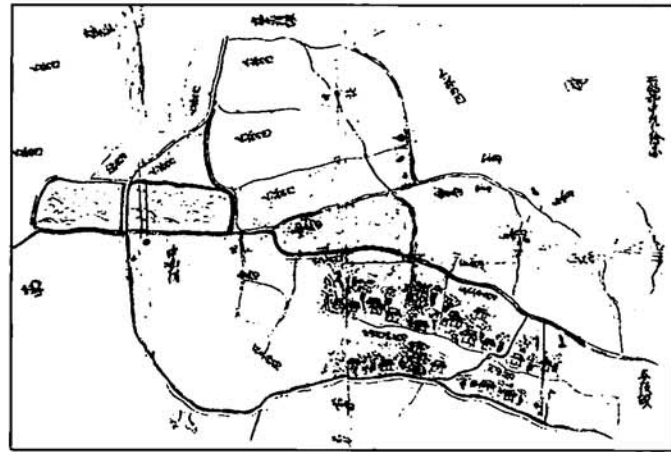
南中は、昔は三島郡内には南中村

と北中村とありましたが、明治になってから、南中と北中と名前が改められました。北中とは和島村にあります。

中田は、三島丘陵と川の中州との中間にあたるので、中田と言われたのではないのでしょうか。

広野も、中州が広くなり、野原の様になったので広野と言われたのではないのでしょうか。

蔦都は、町史には、宝永三年李崎村枝郷蔦都新田となっておりますので、蔦都坊が開拓されてから蔦都と言われた様です。



写真は牧野時代の南中の地図です。

与板町史の編集作業が始まって、二年めになります。町史は、先人が営々と積み上げてきた歴史の発展過程を知っていただき、現在の与板を理解し、私達の指針と活力となればと願い、後世に永く残る町史の歴史資料にしたいと思っております。編集期間の予定は七年間で、現在、編集委員・調査員が資料の収集や調査を行ない、古文書などの解説・筆写を進めている所です。

なにして、膨大な資料の調査と解説ですので、時間がかかりますが、まとまったところから文章にし、広く読んでいただける町史にしたいと思っております。また自然・民俗・文化財などいろいろな幅広いものを考えてます。なお、皆様の関心のある、割元(大庄屋)新木家が一五五年にわたり記録した、二二三冊の「関守(せきもり)」の解説だけは早く進め、来年度末には終了したいと努力しています。

ところで、町民の皆様のご理解とご協力をいただきたく、広報「よいた」に町史編集だよりを、毎月掲載いたします。ただ調査・解説の関係で、時代順が不同ですし、通史編になるもの

与板町史編集だより No.1

のうち、ごく簡単に要約したもので、ご了解いただいたかと思っております。

なお、今迄色々資料を拝見していただいたり、閲覧させていただきまして、誠にありがとうございました。厚くお礼を申し上げます。

この後も何卒、どんな資料でも結構ですので、編集委員・調査員か、町史編集事務局(与板町歴史民俗資料館内)の佐々木



本与板城跡図

(太線は県文化財に指定された範囲)

正和まで、お知らせいただきたく、お願いいたします。

一、本与板城と城主直江実綱

1 本与板城(その一)
本与板城は、戦国時代の特色をよくあらわした山城である。城跡は、本与板の荻岩井・袋ヶ谷から表通にかけ、東の方に突き出ており、自然の地形をよく利用してつくられている。

山頂に、一の郭(かく)、二の郭三の郭を一直線上に配置した、連郭式という山城で、各郭の間

に大きな空堀(からぼり、水のない堀)がある。

一の郭は東西約四三メートル南北四五メートルのゆがんだ四角形で、周囲に土塁(どるい、土を盛る)がある。一の郭から西側に二の郭・三の郭などが並び、南側には南郭があり、東側にも小さな郭がある。これらの郭の周囲には数多くの腰郭という、ほそ長い郭があり、特に北側には幅広い二段の腰郭があり、防御をより強固にしている。(城跡の項、次号に続く)

町史編集委員 長小坂 覚記

募金活動への協力 大変ありがとうございました

昨年10月1日からの赤い羽根共同募金、そして12月1日からお願した歳末たすけあい募金も、皆様の温かいご協力により多くの募金が寄せられました。心から厚くお礼申し上げます。

◎赤い羽根共同募金

- ・町内募金 一、四四五、五八〇円
- ・学校募金 五九、八四六円
- ・バツジ募金一〇四、五四四円
- ・その他 五、八一二円

この共同募金は、社会福祉活動や、各種福祉施設の整備充実に活用されます。

◎歳末たすけあい募金

- ・封筒募金 七三一、三六九円
- ・与板町保護司会 五〇、〇〇〇円
- ・与板町日赤奉仕団様 二二、二二〇円
- ・与板日曜学校様 一六、〇五六円
- ・石塚ムツ子様 三、一五〇円
- ・S子様 一〇、〇〇〇円

この歳末たすけあい募金は、なたきりや一人暮らし老人、心身障害者、長期入院者、施設入所者の方々へ歳末見舞金としてお贈りさせて頂きました。

保体婦さんの

気になる話!

寝たきりの原因

骨粗鬆症を防ぐ

★骨が軽石のようになる。骨粗鬆症とは骨が軽石のようにスカスカになって、ちよっと手をついて転んだだけでも簡単に骨が折れてしまふ、恐い病気です。

①身長を測ったら、若い時より低くなった。②背中が丸くなった。③休んでいても背中や腰が痛むなどの症状のある人は赤信号です。★80才では女性10人中7人が骨粗鬆症です。65才をこえると男では、10人に1人、女では2人に1人が骨粗鬆症になる。80才をこえると男女とも半分はかかります。なたきり者の20%はこの病気が原因です。

★誰れでもできる予防法一 なたきりからでは遅すぎる。①カルシウムを一日に600mg とる。

牛乳一本には200mgのカルシウムがあります。一日一本は飲みましょう。海産物や緑黄色野菜もたくさんとりましょう。表1を参考にしてください。

②毎日歩く背中や腰が曲がりません。一日8千1万歩。

ゲートボールでもカルシウムがふえます。

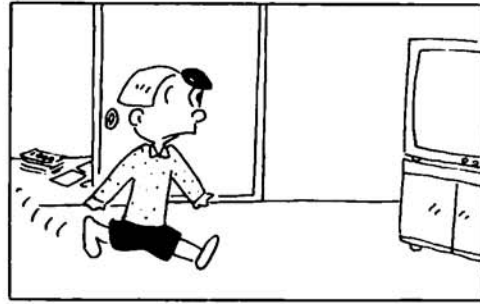
③ビタミンDはカルシウムの吸収をよくします。ハウスより露地野菜、干物を多くとり、自分も日光浴をしましょう。

★「もしや」という時はすぐ専門医を受診しましょう。最近はいろいろよいクスリがでてきています。あきらめないで下さい。

表1 カルシウム 200mg が含まれている食品

食品名	量
煮干し	10g
ひじき(干)	15g
スキムミルク	20g
干しわかめ	20g
プロセステーズ	33g
切り干し大根	40g
小松菜	70g
乳	200cc
牛こ	18g
サクラエビ	20g
しゅんぎく	200g

さわやか君 西村 宗



いちばん
これぞ与板のNo.1

No.10 ゴルフ ホールインワン



〈本与板〉
高橋 信栄さん

皆さん、ゴルフのホールインワンがどのくらい難しいものかごぞんじですか？話によれば、1万5千回に1回入るか入らないかだそうですね。ホールインワンの可能性のあるショートホールは、18ホールの中の4ホール。月2回ゴルフをしたとしても、150年以上もかかることとなります。

高橋さんはゴルフを始めて8年。キャディさんから入ったと

聞いた時、「やった!!」と同時に「大変なことをした」と思ったそうです。なぜなら日本は外国とちがってホールインワンをした人が、仲間をよんで祝う制度だからだそうです。

ホールインワンは宝くじに当たったようなもの。ゴルフは人づき合いや健康にもよいスポーツなので、今度はスコアで与板No.1になる様頑張りたいと言っておられました。

与板町民を対象にした「これぞ与板のNo.1」を募集しています。項目はなんでもかまいません。自薦・他薦を問わず、私が与板で1番だと思ふ事を、役場総務課広報係までお聞かせ下さい。お待ちしております。

短歌

ひたむきに歩み続けし歳月の思い
果てなし七十(ななそじ)の春 高野ユキ
玻璃戸越し晴れ上りたる新雪のそ
の照り返し書架に映えをり 長田 芯字
幼な苗圃育ちて神棚に初枝供え初
明り上ぐ 吉岡 みよ

俳句

初明り静かに雨となつて来し 万 緑
成人式終えて一団雁木ゆく 小 波
初明り杉の梢を鳥翔べり 臥 牛 子
初雪を集め童等悠々を の ぶ 志

とても恐いから、
怯える…。哀しい眸をする。
誰も永遠を望めないのだから
おいで…。一緒に死んであげるから。
肩を叩くのは…。誰。
ふり向くと…。唯…。細かい雪が
何の抵抗もせず
悲哀の中へ落ちてゆく。

ほのぼのの家族

〈上町〉樺沢庄平さん一家

●語り手 樺沢 庄栄さん

今日は、皆さんにはのぼのかどうかわかりませんが、師走23日の川庄家のお話をしましょう。
餅製造を始めるまでは、朝六・〇〇はまだ夢の中。ところが始めるや六・〇〇起床、前日掲げた餅の粉払い、切断、慣れない仕事に四苦八苦。子供を起こして「ひらけポンキッキ」を見ながら朝食。「テレビばかり見ないで早く食べなさい」、大人の決まり文句、子供も心得たもんで「わかってる」「じゃあ早く食べなさい」「ハイ」いつものパターンで食べ終る。庄太は幼稚園に行く。それからみんなが仕事をしているので彩香一人でテレビを見たり、カセットを鳴らしている。それに飽きる頃お茶の時間、この時とばかり甘えて来る。ナント「かまって音頭」のBGM、偶然にしては出来すぎだね。
夜八・〇〇遅い夕食だ。この時間から大人にチャネル権が来る。すると、朝のかたきとばかりに「テレビ見ながらごはんたべなよナ」、「たなあげ音頭」の歌詞そのものである。お風呂に入って歯を磨き「明日は幼稚園のクリスマスパーティーだから早く寝なさい」とふとんの中に寝息を聞いたのが一・〇〇を回っていた。また朝起こすのが大変だ。本年も、かまって彩香、たなあげ庄太、しっかりおじいちゃん、やさしいおばあちゃん、おかあさん、よろしくお願い申し上げます。
以上ちやっかりおとうさんでした。

僕は将来のことについて、あまり深く考えたことはないが、思っていることは二つある。
一つは平凡ではあるが会社に入って人並みの事が出来るようになるということである。
もう一つはスキーレーサーになりたいという夢である。そう思ったわけは単純で、ただスキーをすることが好きなのでなりたいたいというだけであるが、僕としては大きな夢なのである。
無理とは思わし実現できるかどうかかわからないが、何事も努力することができ人間になりたいと思っている。当面は高校入試であるが、次の段階へ夢を持ち続けたいと思っている。

与板中学校3年C組
山崎 英介くん
〈本与板〉

与板中学校3年A組
今井 優子さん
〈本与板〉

私は、将来〇〇になりたいというはつきりした目的は、今はまだありませんが、なんとなく勝手に考えている事があります。…あと数年後には、人の役に立てるような事をしていきたい。それで人に喜んでもらいたい、それを励みに、自分も一緒に成長して行けるように…。人の喜ぶ顔を見ていると、私までうれしくなってきたりするし、その喜びの笑顔の元をつくり出せる事ができたら最高だなあと思うからです。これから大きく変わるかわからないけれど、でも今のこの気持ちだけは、ずっと持ち続けていきたいと思っています。

ほのぼのの家族



広げよう交通安全の輪

飲酒運転……絶対ダメ!!

今年も飲酒の機会が多くあると思いますが、昔から「大酒飲みは一家を食いつぶす」といわれ、今や「たった一杯の酒飲み運転が一家を狂わす」時代となっており、飲んだら乗るな・乗るなら飲むなを合言葉に、与板町から飲酒運転を追放しましょう。



冬の踏切……特に注意を

昭和64年
交通死亡事故0(ゼロ)
2,000日をめざして

ゆとりこそ
無事故につながる
道しるべ

●12月31日現在

1 5 5 7 日
継続中!!

幼・稚・園 入園申請について

- 1 入園資格
昭和58年4月2日(昭和60年4月1日)迄に生まれた与板町に住所のある児童。
- 2 定員 320名
- 3 申請書の提出
入園を希望される方は、1月18日迄に教育委員会(町民体育館内)又は、与板幼稚園へ申請書を提出して下さい。ただし、現在幼稚園に在籍し、引き続き入園を希望される場合は、申請の必要はありません。
- 4 授業料
五、〇〇〇円(1ヶ月)
- 5 登・降園の時間
(登園)午前8時30分~9時
(降園)午後3時30分(土曜日は午前11時30分)
- 6 申請用紙について
申請用紙は、1月10日に当該児童の世帯へ配布しましたので、必要事項を記入の上提出して下さい。尚、配布もれやご不明の点がありましたら教育委員会(TEL7213945・7213528)へご連絡下さい。

償却資産の申告は お早めに

会社や個人で工場や商店、又は、農業などを経営しておられる方が、その事業のために用いることができる機械、器具、備品等の有形固定資産を償却資産といえます。(事業用資産の中で取得価額十万円未満又は、耐用年数一年未満の償却資産は原則として、課税対象とはなりません。)このような事業用資産をお持ちの方は、毎年一月一日現在の資産所有状況を一月三十一日までに申告して下さい。

* 不明の点は、役場税務課へおたずね下さい。

新築・転居・家屋の 取こわしをされた方へ

土地が住宅の敷地として使用されているか、それ以外であるかにより、固定資産税の税額計算が異なります。住宅用地所有者(63・1・2・64・1・1の間)に住宅用地を所有された方又は、住宅用地以下の土地の所有者(住宅用地から住宅用地以外の土地へ変更された方)は、一月三十一日までに申告が必要

冬期間の献血に ご協力下さい

愛の献血事業について、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

ご承知のとおり、例年冬期間は献血者が減少し、輸血用血液が不足致しますが、特に本年度は、六十一年度から引き続きいる献血者離れに加え、本格的な降雪期を迎えての輸血用血液の確保は例年にも増した厳しさが予想されます。

昭和六十三年度与板町の献血「ゆうあい号」来町は十一月で終了しましたが、冬期間の輸血用血液確保のため、県赤十字血液センターの要請により左記のとおり献血を実施します。

つきましては、この現況をご理解いただきなお一層のご協力をお願い申し上げます。

◎期日 2月18日(出)
午前10時~12時 午後1時~3時

◎会場 与板町役場前

~献血でともせ愛の灯命の灯~
<1年に1回1人は献血を>

「国の進学ローン」取扱中

国民金融公庫では本年四月に進学される方を対象に、低利で安心してご利用いただける「国の進学ローン」の取扱を行っています。

- ご利用いただける方
高校、高専、短大、大学、専修学校などへ進学される方のご父母等
- お申し込み
入学金、授業料、受験費用、下宿代など進学のために必要な費用
- ご融資額 一進学者あたり一〇〇万円以内
- 利率 年五・七%
- ご返済期間 五年以内
- 保証
財団法人進学資金融資保証基金又は保証人
- お申込み等
志望校が決まり次第お申込みできます。(郵便でも可)くわしいことは、国民金融公庫長岡支店
長岡市千手三一九一三
電話 〇二五八三六一四三六〇へどうぞ

1月10日は「110番の日」 事件・事故を見たら聞いたら 110番

- ・期日 2月19日(日)
- ・会場 大和町 八海山麓スキー場
- ・募集人員 一〇〇名
- ・参加費 (交通費及び昼食含む)
大人 三、〇〇〇円
中学生以下 二、〇〇〇円
幼児 一、〇〇〇円
- ※リフト代は含まれていません。
- ※当日取り消しの場合、お返しできません。
- ・申込
※小学校3年生以下の参加は保護者同伴でお願いします。希望によりスキー講習会を行いますので、希望される方は申込時に申し出下さい。

64年度の「減反」が 配分されました

水田農業確立対策の前期最終年をむかえ、昭和六十四年の転作配分が先月末県を通じて町に配分されました。

これによりますと、町全体の転作面積は一九・一haで、これは水田面積の約二〇・二%の減反となります。

厳しい農業情勢の中ではありますが、農家の皆さんのご理解とご協力により、円滑に目標を達成する事が出来まますようお願い申し上げます。

尚、詳細の割当につきましては、農家組合長会議、並びに部落座談会等でご説明いたします。

職業訓練校(夜間) S64 訓練生募集

終了者には、技能士など公認の資格取得に特典が与えられます。

- 一、募集科及び訓練期間
①普通課程(三年生・中卒以上) 建築科・左官科・板金科・塗装科
- ②専修課程(一年生・高卒以上) 建築製図科
- 二、訓練時間
学科・毎週二~三回午後六時~九時
実技・毎月一回(日曜)午前九時~午後四時
- 三、学費
各学科共・月額四、五〇〇円
- 四、受付
一月十六日~三月三十一日
- ※申込・問合わせ
長岡市高等職業訓練校
長岡市表町一丁目四番地一〇
TEL 三四一五二〇三

新潟運輸局・法務局・税務署から 土曜日閉庁のお知らせ

法務局(登記所)及び税務署、新潟運輸局、新潟陸運支局、長岡自動車検査登録事務所並びに直江津海運分室(業務……船舶及び自動車の検査・登録等)の休日が1月1日から次のとおりになりましたので、ご協力下さいますようお願いいたします。

1. 日曜日並びに毎月の第2土曜日及び第4土曜日
2. 国民の祝日に関する法律に規定する休日
3. 12月29日から翌年の1月3日までの日(前号に掲げる日を除く。)

- ・新潟地方法務局
- ・税務署
- ・運輸省 新潟運輸局 (電話 025-244-6111)
- ・新潟陸運支局 (電話 025-285-3121)
- ・長岡自動車検査登録事務所 (電話 0258-22-1131)
- ・直江津海運分室 (電話) 0255-43-2486)

ご寄付のお礼

町社会福祉協議会へ次の方から町社会福祉事業のためにご寄付を頂きました。大変ありがとうございました。

- ・金 100,000円 遊馬工務店 遊馬里登志 様
- ・金 5,850円 トマトの会 様

町・県民税(4期)
国民健康保険税
(10期1月分)

●納期限は…
1月31日です

税金はみんなの約束
社会のきまり